

歓迎のことば

ホ ス ト ク ラ ブ
水海道ロータリークラブ
会 長 大 串 卓



本日は、ご多用中にもかかわらず第7分区IMに、ご参加いただき誠にありがとうございます。そして、井上壽博ガバナー、吉岡昭文(PG)IMリーダーのご臨席を賜り感謝申し上げます。また、基調講演をお願い致しました中田俊男様ありがとうございます。水海道ロータリークラブ一同、皆様を心より歓迎致します。

今日、2月23日は1905年にポール・ハリス達が始めて会合を持ったという「ロータリー創立記念日」にあたります。この日にIMを開催するということで、諸先輩が築き上げたロータリーを再認識するよい機会になる大会としたいと思います。

IMは、分区内の情報交換・親睦の場であります。今回の開催に当たり吉岡IMリーダーのご指導の下、ホストクラブとして鈴木豊ガバナー補佐を中心に松坂興一実行委員長のもと、実行委員会を設置し準備を進めてまいりました。

本年は、「職業奉仕を通じて愛を分かち合う心」というテーマの元、基調講演、パネルディスカッション、懇親会という内容で進めていきます。基調講演の中田俊男様は、トモエ乳業株式会社の代表取締役社長であられるとともに、パラオ共和国の特別大使として国際的にも活動しておられます。それらの経験から

興味ある講演がいただけると思います。パネルディスカッションでは、各クラブ代表のパネラーに職業奉仕にとらわれず、広域的な奉仕について、また、ロータリーの魅力や問題点など、本音で語ろうロータリー、という視点でディスカッションしていただくことを楽しみにしております。その後の懇親会では、大いに親睦の和を広げて頂きたいと思います。本日のIMが、皆様にとって素晴らしい、実りある一日になりますようお祈りいたします。ホストクラブとしてIMが成功するように準備を進めてまいりましたが、不行き届きの点多々あるかと思いますが、ロータリーの友情に免じてお許しの程お願いいたします。

終わりに、本日ご参加下さいました皆様のご健勝と第7分区のより一層の発展をご祈念し歓迎のことばといたします。

IMの開催にあたり

国際ロータリー 第2820地区

ガバナー 井上 壽博



新しい年を迎えられ、皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨年は、地区内59クラブの公式訪問を無事終了することが出来ました。各クラブの温かい思いやりの心を感じることが出来ました。心から感謝いたしております。

本日の第七分区のインター・シティ・ミーティング(IM)が吉岡 昭文 パストガバナーのご指導を頂いて、鈴木 豊 ガバナー補佐の指揮のもとに都市連合会(IM)が開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

IMは分区内のロータリアンの皆様が一同に会し、会員がロータリーの共通のテーマについて語り合い、四大奉仕部門をカバーしつつ、ロータリーの特徴やプログラムなどを皆様で考える機会となる会合です。

この会合の目的は、会員相互の親睦と知識を広めることにあります。多数の会員の参加をお願い致します。

本年度ウィルフリッド J ウィルキンソン RI会長は「ROTARY SHARES」(ロータリーは分かち合いの心)テーマのもと、ウィルキンソン会長は、昨年11月に開催されたゾーン研究会講演の中で、思いやる気持ちがロータリーに分かちあいの心をもたらし、ニーズを知ればこそ、ロータリーは分かちあい、「超我の奉仕」を実践すればこそ、ロータリーにおける分かちあいとは、自分自身に不要になったものを施すことではありません。分かちあいとは、人の為に我を忘れて自らを奉げることですと語られました。

ウィルキンソン会長はIMの中で特に職業奉仕(ロータリアンの職業宣言)を推進されましたが、私は鈴木 豊 ガバナー補佐の日頃の熱意が広く奉仕の理想を個性豊かに、より深く指導され素晴らしい成果があるものをご期待を申し上げます。

そして、皆様が最も楽しみにしていると思われ、親睦を通じまして第七分区のロータリアンの皆様、御家族の皆様と共に、大いにロータリーを語り合い、大いに楽しんでください。更に地区大会への友情の輪へと広げて頂きますことをお願い致します。後期に向かって、一層のご活躍を下さいますことを祈っております。

最後になりましたが、鈴木ガバナー補佐のもとに、IMの準備・実行をして頂きました 松坂 興一 実行委員長、ホストクラブである水海道ロータリークラブの大串 卓 会長を始め、水海道ロータリークラブの皆様に、心より厚く御礼申し上げ、ご挨拶と致します。

私のロータリアンとしての努力目標を省みて

パストガバナー
IMリーダー 吉岡昭文



その度、第7分区 鈴木 豊ガバナー補佐のもとに盛大にIMが開催されますことに御礼を申し上げます。

僭越とは思いますが、カウンセラーの立場で出席できます事、嬉しく思います。荷の重さを感じます。

日頃よりロータリー活動の中での私見をご披露させていただきご挨拶とさせていただきます。

他の人の意見に耳を傾けます。

少しでも多くの人との対話の機会を積極的に取り入れ柔軟性を持って前進すべく努力をいたします。具体的な目標の設定をします。

経営者、専門職者として強い影響力を持ち合わせるロータリアンは、耐えずリーダーシップを持って率先して行動していかねばなりません。

職務を委任します。

目的達成の為には、人に任せる勇氣も不可欠です。人を信頼すること又は信頼できる友人を得る事もその人の資質にかかっていると思います。

ユーモアのセンスをいつも忘れずに

その場の雰囲気や適格に捉え、人の心をつかまえるユーモアに心がけていなくてはなりません。

自信に溢れている様に務めます。

周りの人からの信望される為には、自信を持った行動が必要です。自分の決断は常に正義感溢れることが大切です。右に振られたり左にふれたりすることがなく、懸命に真ん中での判断に心がけなければならないと思います。

準備を怠りません。

準備が成否を決めます。成功させるための知識を様々な情報にて習得し、系統立てた準備が大切です。

規則正しい人です。

理想を抱いています。

創造力・柔軟性を持ち合わせます。

「俺が、俺が」は自粛します。

等々の要素を心掛けたいと思います。

最後に私のロータリー体験での反省を申し上げたいと思います。

ロータリーは基本的には自分自身が成長するための反省の場と心得ています。まず、身近な所よりの奉仕を考えていくことが地に足をつけたロータリー活動だと思えます。

順序として、

1. 家庭・家族の幸せの為に
2. 郷土地域社会の明るい未来を
3. 祖国日本の平和の為に
4. 人類、地球規模での幸せの為に

となる為に自分自身が切磋琢磨をしてゆこうと思えます。

IM開催にあたって

第2820地区 第7分区

ガバナー補佐 鈴木 豊



皆様、こんにちは。3月間近の季節ではありますが、まだまだ寒い日が続く中、そして土曜日という何かとお忙しいところ、大勢のロータリアンの参加を頂きまして誠に有難うございます。

特に、井上壽博ガバナーには、連日連夜のIM会合にもかかわらず、またIMリーダー吉岡昭文パストガバナー、分区内の地区役員、地区委員の皆様のご臨席を頂きましたこと深く感謝申し上げます。

そして、トモエ乳業代表取締役社長 中田俊男様には記念講演を快くお引き受けいただき、心より御礼申し上げます。

103年前の今日、まさしくロータリーが誕生した日であり、その記念日にIMが開催されることに大きな喜びを感じております。良き哲学、理念、奉仕の精神の下、延々と続いてきたロータリー活動もロータリー第2世紀目に入り、種々なる問題点も浮き彫りになってまいりました。

当分区は県南に位置し、つくばエクスプレスの開業ともあいまって、経済の発展地、人口の増加が期待出来る条件下にあります。それに反して、会員増強が中々進まない問題点を抱えております。昨年の世相を表す一文字は「偽」でありました。職業倫理、道德観の希薄が生み出した結果ではないでしょうか。四つのテストを合言葉に、今日のIMにて再点検をさせて頂きたいと思っております。

今日は、ロータリー活動の基本となる「職業奉仕」を中心テーマに本音で語ろう。ロータリーを副題にパネルディスカッションを行いパネラーの皆様から自由奔放なる意見を出して頂き今後のロータリーの活力として頂きたいと思っております。そして一期一会の精神の基、親睦を深め友情の輪を拡げ思い出に残るIMとなれば幸いと思っております。

IMの開催に当たり、各クラブ会長・幹事そして会員各位の御理解と御協力を頂き、またホストクラブといたしまして万全の準備をして頂きました水海道ロータリークラブ、大串 卓会長、松坂興一実行委員長、会員の皆様に心から感謝と御礼を申し上げます。

最後に、時間と資金と奉仕の理想を共有する同志の皆様、ロータリーは楽しいものでなければなりません。大いにロータリーライフをエンジョイして実りあるロータリー活動にしてください。結びに当たり、皆様の益々の御健勝、御活躍を御祈念申し上げ挨拶といたします。

来賓並びに役員

(敬称略)

来賓

第 2820 地区ガバナー	井上 壽博
第 2820 地区パストガバナー	木村 功
第 2820 地区パストガバナー	北村 仁

地区委員

クラブ管理運営委員長	城出 鴻二郎 (龍ヶ崎中央 RC)
委員	青木 清人 (水海道 RC)
HP運営委員会委員	石塚 克巳 (水海道 RC)
世界社会奉仕委員長	坂寄 恵 (藤代 RC)
青少年交換 委員長	瀬戸 隆海 (水海道 RC)
職業奉仕委員会委員	石沢 成浩 (守谷 RC)
社会奉仕委員会委員	三枝 稔明 (取手 RC)
委員	熊谷 昇 (水海道 RC)
ロータリー財団・財団寄付・ポリオ委員	倉沢 修市 (竜ヶ崎 RC)

役員

I・M リーダー	吉岡 昭文 (つくば学園 RC)
第 7 分区ガバナー補佐	鈴木 豊 (水海道 RC)

ホストクラブ役員

水海道 RC 会 長	大 串 卓
幹 事	田上 秀雄
実行委員会 委 員 長	松坂 興一
副委員長	青木 清人

RI 第 2820 地区 第7分区 IM プログラム

(敬称略)

司会 ホストクラブ 染谷 秀雄

12:30	登録・受付		
13:00	点鐘	第7分区ガバナー補佐	鈴木 豊
	開会のことば	IM 実行委員長	松坂 興一
	国家斉唱	ソング・リーダー	石塚 克巳
	ロータリー・ソング「奉仕の理想」 斉唱		
	歓迎のことば	ホストクラブ会長	大串 卓
	来賓紹介ならびにガバナー補佐挨拶	第7分区ガバナー補佐	鈴木 豊
	第 2820 地区 ガバナー挨拶	ガバナー	井上 壽博
13:30	IM 研修に当たって	IM 研修リーダー	吉岡 昭文
13:40	記念講演 「私の人生観」	トモエ乳業代表取締役	中田 俊男
14:40	休憩		
14:45	パネル・ディスカッション 「職業奉仕、分かち合いのこころ・本音で語ろう！ ロータリー」	進行 鈴木 豊ガバナー補佐 パネラー 第7分区 各クラブ職業奉仕委員長	
15:45	総評	IM リーダー	吉岡 昭文
	次期ホストクラブ挨拶	取手 RC 会長	飯田 正美
	閉会のことば	IM 副実行委員長	青木 清人
	点鐘	第7分区ガバナー補佐	鈴木 豊
15:55	諸事お知らせ・移動		

懇親会開会

司会 ホストクラブ 武藤 康之

16:00	獅子舞		
16:05	開会のことば 乾杯	第7分区ガバナー補佐	鈴木 豊
16:15	アトラクション 「フラダンスチーム」		
16:45	抽選会		
17:30	閉会のことば ロータリー・ソング「手に手つないで」	ホストクラブ幹事	田上 秀雄

IMホストクラブ実行委員会組織

第7分区ガバナー補佐 鈴木 豊
 クラブ会長 大串 卓
 クラブ幹事 田上 秀雄
 実行委員長 松坂 興一
 副実行委員長 青木 清人
 会 計 青木 正弘

委員会	委員長	副委員長	委員
総務	松村 仁寿	染谷 正美(受付他) 熊谷 昇(総務)	瀬戸、隅屋、福谷 草間、秋田、山崎(善) 長塚、和久
進行・親睦	小島 富雄	染谷 秀雄(IM進行) 武藤 康之(懇親会)	石塚(克)、白井 橋本、山野井、齋藤 北村(仁)
会場設営	皆葉 瑞男	倉持 功典(会場設営) 穂戸田好範(友愛・懇親会)	松崎、飯塚、大塚 中川、北村(陽) 青木(全)、横山
駐車場・誘導	島田 勝	北村 英明(駐車場) 石塚 利明(誘導)	登坂、染谷(昭) 古谷、五木田、福田 二本松、海老原
会計	青木 正弘	櫻村 文雄	藤咲
救護	鈴木 邦彦		

IM (Intercity Meeting)

インターシティー・ミーティング。グループ(Group of Clubs、地理的状态や広さなどにより、地区が3クラブから7クラブの基準で区分されたものです)単位でのクラブや、大都市の場合、その都市内の数クラブの会員が集まり、合同で行う自由討論集会のことです。複数のグループが、連合で開催することもあります。

討論の主な内容は、4大奉仕部門をカバーしつつ、ロータリーの特徴やプログラムなどを検討します。クラブ会員、全員参加です。この会合の大切な目的は、会員相互の親睦と知識を広めることであって、さらに、会員にロータリー情報を伝え、奉仕の理想を勉強するために開催されます。

I M 登 録 者 名 簿

竜ヶ崎ロータリークラブ (37名)

阿 部 孝 義	秋 田 光 祥	荒 井 宏
波 多 野 晴 代	飯 野 均	池 田 八 郎
石 嶋 晴 夫	糸 賀 祥 治	岩 田 邦 夫
神 山 直 規	金 子 博 光	菊 地 達 之
木 村 功	北 良 彦	小 島 孝 行
久 保 武 士	倉 沢 修 市	毛 利 昭 力
中 嶋 義 雄	西 桂 二 郎	野 口 雅 夫
野 村 勇	小 野 瀬 昇 守	大 竹 寄 孝 訓
佐 伯 優 孝	坂 本 弘 人	酒 杉 野 尾 樹
佐 藤 仁 三	篠 崎 田 寿 夫	杉 牛 尾 浩
高 松 仁 毅	寺 渡 利 千	牛 八 木 徹
若 井 恭 弘		

取手ロータリークラブ (33名)

武 政 国 蔵	玉 木 宗 男	斉 藤 充
加 藤 耕 三	片 桐 弘 勝	宇 田 川 雅 明
中 嶋 健 二	小 野 元 康	三 枝 稔 明
飯 田 正 美	長 塚 三 之 介	飯 田 藤 治
菊 地 勝 志 郎	海 老 原 照 男	木 村 廉 美
飯 塚 幸 男	成 島 和 夫	張 貝 正 淳 司
海 老 原 登 康	吉 田 起 男	仲 村 淳 昌 治
久 保 田 春 武 司	長 谷 信 行	三 谷 昌 真 治
小 林 隆 男	葉 梨 田 俊 博	仲 津 宮 豊 之
小 室 秀 忠	野 田 関	西 沼 田 利 弘

牛久ロータークラブ (36名)

相澤久志	永沼正夫	廣瀬嘉一
飯島雅	池田正純	石嶋隆男
鎌田秋光	笠井美彦	木村雄治
久地岡教雄	宮本明	宮本武憲
諸橋康之	村瀬茂	長岡久夫
中川城子	中島邦夫	中島幸代
中村康博	根本清美	小栗政克
大津幸子	小関満	斉藤玲子
園部昌彦	須藤恵貞	杉田栄一郎
田村誠一郎	田中淳雄	田中敏孝
友永正昭	鳥越啓隆	東間紘生
米田明	吉波南海雄	石井弥生

守谷ロータークラブ (11名)

大久保富夫	片桐武美	田中康二
土田達雄	石澤成浩	野口とみ子
下村峰子	鏡實宏	飯田健三
仲田耕三	斉藤宏	

稲敷ロータークラブ (12名)

飯嶋明彦	小林良行	幸田博
宮本衛市	森田秀男	野口晃
岡澤成美	坂本至朗	鈴木恭平
高橋恭子	田所恒治	山岡孝夫

藤代ロータークラブ (21名)

安達實	千葉和子	蛭原忠志
古屋吉雄	川口政弥	坂本博之
坂寄恵	川瀬操	坂入浩行
熊坂真人	坂上政広	枝広政子
信太謙一	岡本肇	池田久樹
戸田進	諸越茂	根崎一幸
飯泉智弘	佐藤隆治	永田昭文

龍ヶ崎中央ロータークラブ (20名)

長友芳郎	川上勉	荒木友雄
海老原賢	久水寿美	亀尾清司
河北恵一郎	大原浩行	城出鴻二郎
曾根一吉	山口洋一	横山善英
米島光一		

水海道ロータークラブ (48名)

青木清人	青木正弘	青木全弘
秋田政夫	飯塚三夫	石塚克己
石塚利明	海老原良夫	大串卓
大塚令昌	小島富雄	檜村文雄
北村英明	北村陽太郎	北村仁
熊谷昇	倉持功典	草間春正
斎藤広巳	島田勝彦	五木田利明
鈴木豊	鈴木邦彦	白井豊
隅屋祐三	瀬戸隆海	染谷秀雄
染谷正昭	染谷正美	田上秀雄
登坂寛	中川莞爾	長塚曉
二本松恭行	橋本忠昭	福谷正典
福田克比古	藤咲正至	古谷正榮
穂戸田好範	松坂興一	古谷隆一
松村仁寿	皆葉瑞男	武藤康
山崎善市	山野井周一	横山修

領 収 書

様

¥ 6 , 0 0 0

但し 第7分区IM登録料として

上記金額領収致しました。

平成20年2月23日
水海道ロータリークラブ
会計 青木正弘

IM出席報告

ご芳名 _____

所属クラブ _____

職業分類 _____

平成20年2月23日

IMにご参加下さいまして有難うございました。

第2820地区 第7分区
水海道ロータリークラブ
幹事 田上秀雄